

電子カルテ管理課

電子カルテ管理課 課長代理 濱田真次

■人事異動情報

2025 年の人事異動は以下のとおりです。

【入職】

- ・安藤孝浩（11 月 4 日）

【退職】

- ・中村亮太（10 月 31 日）

【異動】

- ・5 月 1 日 DX 推進部の新設、長山信夫が DX 推進部部長に就任
- ・5 月 1 日 濱田真次が電子カルテ管理課課長代理に就任

■課員紹介

当課は以下の体制で業務を遂行しました。

濱田真次、松村稔、徳橋佳典、藤澤孝雄、川村佐和、岡崎祐希、安藤孝浩、山崎昌浩、山口素治

■主な活動

1. 電子カルテ情報共有サービスへの対応に向けた協議

電子カルテ情報共有サービスの導入について、システム検討委員会にて協議を実施しました。2025 年 9 月時点では、費用対効果の観点から導入の優先度は高くないと判断、経過措置の延長も発表があり、当面の導入は見送る結論としました。今後は国の動向および制度設計の進展を注視しながら、継続的に検討してまいります。

※電子カルテ情報共有サービス：マイナ保険証を利用し、患者の同意のもと、全国の医療機関や薬局が「3 文書 6 情報」と呼ばれる診療データを共有・閲覧できる仕組み。

2. 電子カルテ更新に関する検討

2026 年 9 月に更新時期を迎える電子カルテについて、3 社による相見積もりを取得しました。更新費用は経営への影響が大きいことから、コスト最適化を前提とした検討を進めています。各社の提案内容および今後の製品戦略を踏まえ、最適な選定に向けてシステム検討委員会にて継続協議しています。

3. 電子処方箋への対応

電子処方箋の運用について、2 月のシステム検討委員会にて説明を実施しました。電子証明書による認証は、HPKI カード発行までの暫定措置として個人所有スマートフォンを用いた方式を採用する方針としました。また、将来的な HPKI カード運用を見据え、外来部門にカードリーダーを先行設置しました。

4. 救急時医療情報閲覧体制の構築

救急外来における医療情報閲覧体制を整備し、2025 年 2 月にシステム構築を完了しました。運用開始にあたり、救急外来常勤医を対象とした説明会を実施しました。本仕組みはマイナンバーカードによる資格確認（顔認証または暗証番号入力）を前提としていますが、救急搬送時には本人対応が困難な場合も想定されるため、運用面での課題が残っています。

5. Windows11 への更新対応（Windows10 サポート終了対策）

2025 年 10 月の Windows10 サポート終了に伴い、院内インターネット用端末の更新プロジェクトを立ち上げました。対象台数は 440 台であり、計画的に更新を進めることで、セキュリティリスクの低減および安定運用の確保を図っています。

6. 情報セキュリティ研修の実施（2024 年度）

2022 年度診療報酬改定に対応し、全職員を対象とした情報セキュリティ研修を実施しました。2024 年度は「ランサムウェアの脅威」および「スマートフォンのセキュリティ対策」をテーマとし、受講率は 91%となりました。これにより職員のセキュリティ意識向上に寄与しました。

7. IT-BCP 訓練の実施（2024 年度）

医療情報システム事業継続計画（IT-BCP）に基づく訓練を実施しました。訓練では以下の内容を実施しました。

- ・サイバー攻撃発生時の初動対応確認
- ・IT-BCP に基づく初動対応および内容精査
- ・院内報告体制ならびに外部関係機関への連絡体制および役割の確認
- ・外部講師によるセキュリティ講話

なお、本訓練は管理部管理職を対象として実施しました。

8. 新入職員操作訓練の実施（2025 年度）

2025 年 4 月入職の新入職員を対象に、電子カルテ操作訓練を実施しました。延べ 5 日間にわたり計 109 名に対して実施し、円滑な業務開始に寄与しました。

9. リモート接続用機器の更新対応

外部ベンダー向けリモート接続環境の見直しを実施しました。従来は SSL-VPN を採用していましたが、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に準拠するため、より強固な暗号化方式である IPsec-VPN への移行を提案しました。

※SSL-VPN: インターネット回線上で通信を暗号化し、安全なリモート接続を実現する方式です。

※IPsec-VPN: ネットワーク層で通信全体を暗号化し、より高いセキュリティを確保する方式です。

10. 医師用 Wi-Fi 環境の構築 (BYOD 対応)

医師の持ち込み端末 (パソコンおよび個人用スマートフォン) に限定した Wi-Fi 環境を構築しました。本環境は業務用ネットワークと分離した構成とし、業務システムへの影響を排除した設計としています。利用は許可制とし、申請に基づき電子カルテ管理課にてアクセス権を付与することで通信可能としています。

※BYOD (Bring Your Own Device) : 個人所有端末を業務に利用する形態です。

11. ネットワーク機器更新 (第3期)

2014 年に導入したネットワーク機器の更新時期を迎え、以下機器の更新についてシステム検討委員会にて検討を実施しました。

- ・L3 スイッチ : 4 台
- ・L2 スイッチ : 19 台
- ・ファイアウォール : 2 台

2025 年度中の更新に向け、計画的に検討を進めています。

12. 仮想化部門システムの更新

2014 年に仮想化した部門システムの更新について検討を実施し、以下システムを対象に更新を行いました。

- ・病理検査支援システム (武藤化学)
- ・調剤管理システム (トーショー)
- ・服薬指導システム (インフォコム)

これらについて、2025 年 11 月に更新作業を完了しました。

13. 心カテ・心エコー動画システム更新の検討

2011 年より使用している心カテ・心エコー動画システム (レポートシステムを含む) の更新について、3 社より見積もりを取得し、システム検討委員会にて検討を実施しました。循環器内科および心臓血管外科を中心にデモンストレーションを行い、2026 年度中の更新に向けた調整を進めています。

14. 手術オーダー・麻酔記録管理システムの導入検討

手術部門 (麻酔科および看護部) の業務負担軽減を目的として、手術オーダーおよび麻酔記録管理システムの導入検討を実施しました。導入に向けて他院見学を延べ 4 回実施し、運用面の検証を行いました。2026 年 3 月稼働を目標にワーキンググループを立ち上げ、準備を進めています。

■2025 年 障害報告

2025 年に発生した主なシステム障害は以下のとおりです。

- ・電子カルテシステム：処方箋が発行されない事象が発生しました。
- ・ヤギー文書管理システム：特定条件下において正常に印刷が行えない不具合が発生しました。
- ・トリアージシステム：メモリーリークによりシステムが停止し、利用できない事象が発生しました。
- ・診療録管理システム：退院サマリの記載進捗が自動連携されない不具合が発生しました。
- ・透析管理システム：サーバにおいて「Service Control Manager」が起動せず、サービスが停止する事象が発生しました。
- ・仮想基盤（第2期Ⅰ期）：メモリーリークにより強制シャットダウンが発生しました。
- ・仮想Ⅳ期サーバ#2：部門システムとの通信不具合が発生しました。

これらの障害については、迅速に原因調査および復旧対応を実施し、診療業務への影響最小化に努めました。今後は同様の事象の再発防止に向け、監視体制の強化および事前対策の徹底を図ります。

■総括

2025 年度は、電子カルテ更新をはじめとする大規模案件の検討を進めつつ、院内システムの安定運用およびセキュリティ強化に取り組んだ一年となりました。特に、Windows11 への更新対応やリモート接続環境の見直し、ネットワーク機器更新の検討など、将来を見据えた基盤整備を着実に推進しました。

一方で、複数のシステム障害が発生しており、安定運用の重要性を改めて認識する結果となりました。これを踏まえ、障害発生時の初動対応および再発防止策の強化、ならびに IT-BCP に基づく体制整備を継続的に実施していく必要があります。

今後は、コスト最適化と安全性確保の両立を図りながら、医療の質向上に資する情報基盤の構築を推進してまいります。